

日本栽培漁業協会における親魚養成技術開発の現状 と今後の課題

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 虫明, 敬一, 本藤, 靖, 崎山, 一孝, 浜田, 和久, 堀田, 卓朗, 吉田, 一範 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014545

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution 4.0 International License.



日本栽培漁業協会における親魚養成技術開発の現状と今後の課題（総説）

虫明敬一・本藤 靖・崎山一孝・浜田和久・堀田卓朗・吉田一範

過去 10 年間（1992～2001 年）に日本栽培漁業協会で行った主要な 15 魚種について、親魚養成技術開発の現状と今後の課題について取りまとめた。各魚種で親魚候補群の確保、養成飼餌料、養成施設と飼育管理、成熟制御、産卵誘発、採卵、卵管理、および仔魚の活力判定の計 8 項目について論じた。今後の主要な課題として、良質卵の安定確保、ウイルス性疾病防除対策、親魚成熟機構の解明、健全性の評価、親魚用飼餌料の開発および遺伝的多様性の保持が挙げられた。そして、これらの基礎的研究の成果を結集し体系化することにより、親魚養成が技術的に確立されることを提起した。

栽培技研, 30(2), 79-100, 2003